



読書活動を豊かに（初島小学校）【読み聞かせサークル「はなしっこ」】

読み聞かせボランティアの「はなしっこ」は、1987年、初島小学校のPTA活動で知り合った保護者で結成されました。結成当初は、年に一度、学校の文化祭で読み聞かせを行っていましたが、その後、学期ごとに、放課後、希望者に対して読み聞かせを行うなど、活動回数も増えました。また、12年前からは読書の時間（国語や朝の会等）に全児童に読み聞かせを行うなど活動内容も充実してきています。

メンバーは現在7名で、保護者中心であったものが徐々に地域の有志によるメンバーに変わってきました。定期的に公民館に集まり、読み聞かせをする本の選定や内容の工夫、読み聞かせの練習などを行っています。

1/21（金）4年生の教室から



以前は絵本近くに児童を集めていましたが、現在は感染予防のため自分の席で見たり聞いたりしています。全員が本当に集中しています。

絵本を持たない「かたり」という形もあります。



学校司書さんがすてきな予告ポスターを毎回作ってくれます。この教室掲示を見て子供たちはますます読み聞かせを楽しみにしています。



つながる・ひろがる

子供たちは「おはなしかい」を心から楽しんでいるようです。

「一日中、何度も、読み聞かせてもらったことを話す子もいます。先生、あれって、もし〜だったら…と、ふと思出すようです。」と話してくれる先生もいます。「おはなしかい」の絵本はしばらく教室に置いてあるので、一人で読んだり、友達と読んだりして楽しんでいます。

数年前には、あるメンバーの方の語り（創作）を聞き、クラス全員で紙しばい作りに挑戦したこともあるそうです。【右写真】「はなしっこ」のメンバーの方々からは、「道で出会ったら『はなしっこのおいやん（おばちゃん）や！』ってよく声をかけてくれるよ。」「先生も楽しんでくれていると、また嬉しいんよ。」



「子供たちからお手紙くれるときもあるんやで。」「子供たちとつながる場をつくってくれている学校にはすごく感謝しています。」などという声が聞かれました。

学校と地域が連携・協働し、未来を担う子供たちを育てよう